



## 平成25年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年1月11日

上場会社名 ヤマト インターナショナル株式会社 上場取引所 東・大  
 コード番号 8127 URL http://www.yamatointr.co.jp  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 盤若 智基  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画室長 (氏名) 安栗 清 TEL 03-5493-5629  
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年8月期第1四半期の連結業績（平成24年9月1日～平成24年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年8月期第1四半期	6,284	5.6	544	6.3	554	7.8	313	43.4
24年8月期第1四半期	5,949	4.1	512	△14.7	514	△14.2	218	△23.2

(注) 包括利益 25年8月期第1四半期 356百万円 (34.7%) 24年8月期第1四半期 264百万円 (△14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年8月期第1四半期	14.70	—
24年8月期第1四半期	10.25	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年8月期第1四半期	30,504	21,065	69.1	988.65
24年8月期	28,280	20,900	73.9	980.90

(参考) 自己資本 25年8月期第1四半期 21,065百万円 24年8月期 20,900百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年8月期	—	9.00	—	9.00	18.00
25年8月期	—	—	—	—	—
25年8月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年8月期の連結業績予想（平成24年9月1日～平成25年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,500	1.1	750	3.4	780	3.0	400	1.9	18.77
通期	24,000	2.2	1,200	9.6	1,250	8.1	650	32.0	30.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年8月期1Q	22,502,936株	24年8月期	22,502,936株
② 期末自己株式数	25年8月期1Q	1,195,959株	24年8月期	1,195,793株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年8月期1Q	21,307,072株	24年8月期1Q	21,312,433株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注記事項については、（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(5) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州金融不安に端を発した円高・株安の長期化や、中国をはじめとした新興国の成長鈍化を背景に、輸出・生産が減速する等、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当業界におきましては、11月の気温低下により防寒衣料が好調に推移し、回復の兆しが見られたものの、雇用環境の悪化や消費税増税法案による消費者心理の冷え込みが懸念される等、引き続き不安要素を含んだ市場環境となっております。

このような経営環境の中、当社グループでは、基本方針である「時代に合った顧客が求めるカジュアルスタイルの提案」を念頭に、「先10年戦える“小売型アパレル”への転換」を新たな中長期目標として掲げ、全社における考え方・価値観の統一と収益性・成長性・具体性が見込める事業の強化に注力してまいりました。

販売面では、「クロコダイル」の既存事業部を「直営部」「東京営業部」「大阪営業部」「商品企画部」に再編成したことにより、直営店ビジネスの強化やメンズ・レディースの運営一体化を実現しました。また更なる事業の拡大を図るため、「クロコダイル」50周年記念事業として、ポップアップストアを開設する等、ブランド認知度の向上にも注力いたしました。更に、収益性・成長性の高いeコマースを重要事業として位置づけ、より一層の拡充を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における連結業績は、売上高が62億8千4百万円（前年同期比5.6%増）と増収になりました。また、店舗開発やブランドプロモーションへの積極的投資により販売費及び一般管理費は増額となりましたが、売上高の増加がそれらを吸収し、利益面でも営業利益は5億4千4百万円（前年同期比6.3%増）、経常利益は5億5千4百万円（前年同期比7.8%増）、四半期純利益は3億1千3百万円（前年同期比43.4%増）と増益になりました。

セグメントごとの売上高では、繊維製品製造販売業62億3千7百万円（前年同期比5.9%増）、不動産賃貸事業4千7百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は163億5千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ24億7百万円増加いたしました。主な要因につきましては、商品及び製品が16億9千7百万円増加したことによるものであります。現金及び預金と有価証券を合わせた手元流動性資金は89億8千9百万円から7億9千1百万円減少し81億9千8百万円となりました。受取手形及び売掛金の残高は13億3千1百万円増加し、34億9百万円となりました。

#### ②固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は141億4千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億8千3百万円減少いたしました。主な要因につきましては、有形固定資産が2千2百万円増加し、差入保証金が3千3百万円増加し、投資有価証券が2億3千万円減少したこと等によるものであります。

#### ③流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は80億1千2百万円となり、前連結会計年度末と比べ20億7千2百万円増加いたしました。主な要因につきましては、支払手形及び買掛金が17億8千8百万円増加し、未払法人税等が2億1千2百万円増加したことによるものであります。

#### ④固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は14億2千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ1千3百万円減少いたしました。

#### ⑤純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は210億6千5百万円となり、前連結会計年度末と比べ1億6千4百万円増加いたしました。主な要因につきましては、利益剰余金が1億2千1百万円増加し、繰延ヘッジ損益が1千2百万円増加し、為替換算調整勘定3千2百万円増加したことによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末の73.9%から4.8ポイント低下し、69.1%となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績は概ね当初計画どおりに推移しており、平成24年10月12日発表の業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,750,777	4,133,005
受取手形及び売掛金	2,077,912	3,409,080
有価証券	5,239,185	4,065,306
商品及び製品	2,431,369	4,129,048
仕掛品	62,561	75,390
原材料及び貯蔵品	23,004	48,489
繰延税金資産	145,154	213,552
その他	221,287	284,718
貸倒引当金	△218	△354
流動資産合計	13,951,035	16,358,238
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,578,668	2,591,320
機械装置及び運搬具（純額）	33,092	34,297
土地	7,931,184	7,931,184
リース資産（純額）	11,901	10,655
建設仮勘定	—	2,947
その他（純額）	73,324	80,698
有形固定資産合計	10,628,171	10,651,104
無形固定資産	138,736	135,331
投資その他の資産		
投資有価証券	1,859,977	1,629,048
差入保証金	1,320,451	1,353,485
繰延税金資産	286,992	299,289
その他	137,351	129,047
貸倒引当金	△42,266	△51,240
投資その他の資産合計	3,562,506	3,359,630
固定資産合計	14,329,415	14,146,067
資産合計	28,280,450	30,504,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,986,326	5,775,293
1年内返済予定の長期借入金	700,030	657,200
未払法人税等	98,636	311,008
賞与引当金	116,620	—
返品調整引当金	29,000	50,000
ポイント引当金	101,291	106,312
資産除去債務	1,985	6,557
その他	906,459	1,106,440
流動負債合計	5,940,349	8,012,812
固定負債		
長期借入金	600,000	600,000
退職給付引当金	504,214	500,031
資産除去債務	136,321	134,356
その他	199,319	191,905
固定負債合計	1,439,854	1,426,293
負債合計	7,380,203	9,439,106
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,917,652	4,917,652
資本剰余金	5,644,906	5,644,906
利益剰余金	11,059,071	11,180,455
自己株式	△654,500	△654,560
株主資本合計	20,967,129	21,088,454
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△68,856	△70,440
繰延ヘッジ損益	△6,332	6,506
為替換算調整勘定	8,305	40,678
その他の包括利益累計額合計	△66,883	△23,255
純資産合計	20,900,246	21,065,199
負債純資産合計	28,280,450	30,504,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月1日 至 平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)
売上高	5,949,620	6,284,891
売上原価	2,804,301	2,972,270
売上総利益	3,145,319	3,312,621
返品調整引当金戻入額	32,000	29,000
返品調整引当金繰入額	46,000	50,000
差引売上総利益	3,131,319	3,291,621
販売費及び一般管理費	2,618,991	2,746,800
営業利益	512,327	544,820
営業外収益		
受取利息	5,771	4,328
受取配当金	1,610	3,293
受取補償金	1,879	10,836
その他	5,919	6,595
営業外収益合計	15,180	25,054
営業外費用		
支払利息	6,435	5,541
賃借契約解約損	4,770	—
為替差損	1,766	617
貸倒引当金繰入額	—	9,000
その他	213	337
営業外費用合計	13,186	15,496
経常利益	514,322	554,379
特別損失		
固定資産除却損	1,597	5,744
減損損失	8,114	18,067
投資有価証券評価損	127,223	—
特別損失合計	136,935	23,812
税金等調整前四半期純利益	377,387	530,566
法人税、住民税及び事業税	200,528	300,793
法人税等調整額	△41,550	△83,375
法人税等合計	158,977	217,418
少数株主損益調整前四半期純利益	218,409	313,148
少数株主利益	—	—
四半期純利益	218,409	313,148

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月1日 至平成23年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	218,409	313,148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,188	△1,584
繰延ヘッジ損益	9,829	12,838
為替換算調整勘定	13,423	32,373
その他の包括利益合計	46,440	43,628
四半期包括利益	264,850	356,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	264,850	356,776
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年9月1日至平成23年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	5,888,756	60,863	5,949,620	—	5,949,620
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,888,756	60,863	5,949,620	—	5,949,620
セグメント利益	663,935	25,070	689,006	△176,678	512,327

(注)1 セグメント利益の調整額△176,678千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)2
	繊維製品製造 販売業 (千円)	不動産賃貸事 業 (千円)	計 (千円)		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,237,636	47,255	6,284,891	—	6,284,891
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,237,636	47,255	6,284,891	—	6,284,891
セグメント利益	711,309	12,202	723,512	△178,691	544,820

(注)1 セグメント利益の調整額△178,691千円は、各報告セグメントに配分していない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。